

令和4年4月15日

戦略室活動報告(令和3年度)

●概要

前回(2021年11月の報告)

1. 中間評価結果の報告
2. 令和2年度 年次報告(成果報告書)
3. レビュー報告書
4. 次期建議の検討

1. 公募研究の審査

令和4年度の公募研究の審査を行い(申請13件、採択10件、不採択3件)、予算委員会へ結果を報告した。不採択とされた応募課題は、採点評価の点数が低い、昨年度までの研究内容との差異が認められない、新規性がない、などが理由となり不採択と判定された。研究内容の新規性などの扱い方について火山部会から意見があった。今年度、公募研究審査の方法(新規性の評価、評価の配点方法等)については再検討する。

2. 令和3年度成果報告シンポジウム

令和4年3月1日(火)から3日(木)にオンライン開催で成果報告シンポジウムを実施した。346名の参加があった。部会報告や総合研究グループの報告は従来通り口頭発表で行った。また、各研究課題の発表はフラッシュトークで行った。昨年度の反省を踏まえ3日間に分割することで発表会場数を減らしたため、比較的多くの各研究課題の発表を聴講できるようにした。参加者も短時間の発表に慣れ、従来のポスター発表よりも全体がつかめてわかりやすい、といった感想もあった。

3. レビュー報告書

地震火山観測研究部会のとりまとめ委員(関口氏、大湊氏)より、部会での意見についての紹介および文章修正の要望について説明を受け、対処案を検討した。

4. 次期建議の検討

レビュー報告書の今後の展望等をまとめるため、一昨年度の成果報告シンポジウムでの部会長報告や昨年度の戦略室の議論を通じて、次期建議の方向性を検討してきた。引き続き、次期計画の立案方法を検討した。建議の柱(4項目)や総合的研究の位置づけ、重点的研究の内容について、戦略室で検討を行ったが、4つのワー

キンググループ(地震、火山、史料・考古、防災リテラシー)を設置し、意見を集約していくこととなった。各ワーキンググループは、戦略室員、部会長・副部会長などをベースとした。また、ワーキンググループが連携する必要がある内容、対応することが難しい内容については、戦略室内で検討をすることとした。

また、次期計画検討シンポジウムの実施を検討した。5月17日(火)、18日(水)にオンライン形式で行うこととなった。また、次期計画をよりよくするため、機関や個人からの提案を聞き、意見交換するため、4月25日締め切りで講演の募集を開始した。

●戦略室のおもな活動状況(令和3年11月後半以降)

第9回議事(11月20日(月)15:00-16:30)

- 1.公募研究課題の評価・募集方法について
- 2.成果報告シンポジウムについて
- 3.レビュー報告書について
- 4.次期建議検討に向けて
- 5.その他

第10回議事(1月21日(金)15:00-17:30)

- 1.成果報告シンポジウムについて
- 2.レビュー報告書について
- 3.次期建議検討に向けた立案方法について
- 4.その他

第11回議事(2月18日(金)15:00-17:00)

- 1.レビュー報告書について
- 2.シンポジウム関係について
- 3.次期建議

第12回議事(3月22日(火)13:00-14:30)

- 1.次期建議検討関係
- 2.年次報告書作成スケジュール
- 3.令和4年度戦略室員、室長、リエゾンについて
- 4.その他